

令和 7 年度
外部評価報告書

令和 7 年 10 月

国立大学大阪教育大学

— 目 次 —

はじめに	・ ・ ・ ・ ・	1
外部評価委員会委員名簿	・ ・ ・ ・ ・	2
外部評価実施計画	・ ・ ・ ・ ・	3
令和 7 年度外部評価の経過及び令和 8 年度外部評価の予定	・ ・ ・ ・ ・	4
外部評価結果	・ ・ ・ ・ ・	5

は じ め に

大学は、教育研究水準の向上に資するため、教育・研究・社会貢献等の状況について点検・評価を行い、その結果を公表することが求められている。

大阪教育大学では、教育研究、社会貢献及び業務運営に関する点検・評価の妥当性と客観性を高めることを目的に、2024 年度に実施された自己点検・評価結果について 2025 年度に外部評価を実施し、検証を行った。

具体的には、1. 教育研究上の基本組織、2. 内部質保証、3. 情報の公表、4. 財務運営・管理運営、5. 社会との連携・社会貢献、6. 附属学校園との連携、7. 中期目標・中期計画、の各項目の自己点検・評価結果について資料を確認し、評価の妥当性を検証した。

外部評価では、自己点検・評価において予め定められた指標・基準とその点検・評価の方法に照らして確認が適切に行われているか否かを検証することになっている。外部評価に提供された自己点検・評価資料は、上記各項目について、基準、点検・評価の方法、根拠資料・データが詳細かつ明確に整理・提示されており、自己点検が確実に行われており、評価結果が妥当であることが確認できた。それゆえ、外部評価として自己点検・評価結果は「適切である」と結論づけた。

項目ごとの外部評価委員会委員からの意見、指摘等については、P5 以降に掲載する。

なお、大阪教育大学は、全国 4 つの教員養成フラッグシップ大学として、ダイバーシティ教育等の諸課題に応える教師の育成を目指す様々な取り組みを精力的に展開しており、今回の評価結果等を今後の教育研究活動において活かし、教育界及び他の教員養成系大学を牽引する役割を果たしていくことが期待される。

また、次年度は大阪教育大学において 2025 年度に自己点検・評価を実施する項目について、同様に検証する予定である。

令和 7 年 10 月

国立大学法人大阪教育大学

外部評価委員会委員長

森 迫 清 貴

大阪教育大学外部評価委員会委員名簿

(五十音順・敬称略)

打抜 真由美

(八尾市立龍華小学校 校長)

松本 敬介

(大阪商工会議所 産業部 部長)

森迫 清貴

(広島大学 監事)

(外部評価委員会委員長)

吉水 裕也

(関西学院大学 教育学部 教授)

令和7年度及び令和8年度外部評価実施計画

1. 外部評価の目的

本学が行う教育研究、社会貢献、業務運営に関する自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるために、自己点検・評価結果について学外者による検証を行う。

(国立大学法人大阪教育大学外部評価規程第1条抜粋)

2. 外部評価の対象

- ・令和7年度外部評価の対象は、令和6年度実施の自己点検・評価結果
- ・令和8年度外部評価の対象は、令和7年度実施の自己点検・評価結果

3. 評価実施方法

外部評価委員会は、令和6年度、令和7年度実施の自己点検・評価報告書及び関連資料等に基づき、本学が行う自己点検・評価の適切性について評価を行う。

4. 外部評価結果の公表

外部評価報告書は、本学ホームページに公表する。

5. 評価項目

令和7年度

1. 教育研究上の基本組織
2. 内部質保証
3. 情報の公表
4. 財務運営・管理運営
5. 社会との連携・社会貢献
6. 附属学校園との連携
7. 中期目標・中期計画

令和8年度

1. 学生の受入
2. 学生支援
3. 施設・設備
4. 教育課程と学習成果
5. 研究活動
6. 中期目標・中期計画

令和 7 年度外部評価の経過

月日	事項	内容	対象
6月4日	外部評価実施委員会	・令和7年度実施の外部評価についての説明 ・実施計画、項目等の審議	R6 実施の 自己点検・ 評価
6月26日	外部評価委員会	・令和7年度実施の外部評価についての説明 ・実施計画、評価方法や手順を説明	
6月～ 8月	外部評価の実施	・外部評価委員に外部評価資料を送付 ・各委員において外部評価を実施	
8月	評価結果の提出	・各外部評価委員から外部評価票（評価結果）の提出	
9月29日 ～10月3日	外部評価実施委員会	・外部評価報告書（案）作成 ・次年度実施分確認	
10月8日 ～15日	外部評価委員会	・令和7年度外部評価報告書（案）の審議	
10月16日	外部評価結果の答申	・学長へ外部評価結果の答申	
12月	外部評価結果公表	・大学ホームページにて公表	

令和 8 年度外部評価の予定

7月	外部評価実施委員会	・令和8年度実施の外部評価についての説明 ・実施計画、項目等の審議	R7 実施の 自己点検・ 評価
7月	外部評価委員会	・令和8年度実施の外部評価についての説明 ・実施計画、評価方法や手順を説明	
7月～ 9月	外部評価の実施	・外部評価委員に外部評価資料を送付 ・各委員において外部評価を実施	
9月	評価結果の提出	・各外部評価委員から外部評価票（評価結果）の提出	
9～10月	外部評価実施委員会	・外部評価報告書（案）作成 ・次年度実施分確認	
10～11月	外部評価委員会	・令和8年度外部評価報告書（案）の審議	
	外部評価結果の答申	・学長へ外部評価結果の答申	
	外部評価結果公表	・大学ホームページにて公表	

令和7年度外部評価結果

【全体的な評価】

適切である

【理由】

外部評価では、自己点検・評価において予め定められた指標・基準とその点検・評価の方法に照らして確認が適切に行われているか否かを検証することになっている。外部評価に提供された自己点検・評価資料は、上記各項目について、基準、点検・評価の方法、根拠資料・データが詳細かつ明確に整理・提示されており、自己点検が確実に行われており、評価結果が妥当であることが確認できた。

それゆえ、外部評価として自己点検・評価結果は「適切である」と結論づけた。

【以下、項目ごとの外部評価委員からの意見・指摘等】

1. 教育研究上の基本組織

1-1 必要な教員配置

各種データを示した上で、経年変化や同等規模の教育系大学との比較から基準に照らして満たしていることが確認されている。各コースのプログラム維持は的確になされていると思われるが、コースごとの配置教員数（非常勤等も含めた担当教員数）との妥当性についても評価することが望まれる。

1-2 教員の年齢及び性別の構成

若手の比率目標への努力が望まれる。

2. 内部質保証

質保証を担保、検証する体制を構築し、必要な情報収集（意見収集等）を体系的、継続的に行っている。今後も情報分析等を的確に実施し、質の向上、環境改善に役立てていくことが期待される。

3. 情報の公表

法令等で定められている事項がホームページ等で公表されていることが確認された。ただし、一部に不十分と思われるものもあり、より注意深い精査が望まれる。

4. 財務運営・管理運営

国からの運営費交付金が必ずしも十分とは思えない状況で、よく工夫して経費執行を行っている。特に、教育の国際化で「日本留学アワーズ2023」において西日本国公立大学部門で大賞を受賞するなどの成果を上げている。管理・運営面は適切に実施されている。

5. 社会との連携・社会貢献

自治体・教育委員会との連携事業や産業界との連携事業、社会貢献活動を着実に実施し、教員養成等に活かしている。また、海外協定校・諸機関との連携事業をコロナ禍があったに

もかかわらず実施できている。今後、「みらい教育共創館」も活用して、教育面での連携がより活性化していくことが期待される。

6. 附属学校園との連携

天王寺、池田、平野の3地区に附属学校園を有しており、教育実習に供するとともに、新たな教育課題等に取り組んでいる。企業と連携しAIを活用した授業解析システムを用いた指導を実施する等の試みも実施されている。今以上に教育研究の実践活動状況等を積極的に公表していくことが望まれる。

7. 中期目標・中期計画

毎年度、中期計画の取組状況、達成状況について各実施責任者からの報告をもとに評価を行っており、最終年度に向けて課題となる計画については対応を図っている。各計画目標値を達成できるよう必要な取り組みの確実な実施が望まれる。

なお、大阪教育大学は、全国4つの教員養成フラッグシップ大学として、ダイバーシティ教育等の諸課題に応える教師の育成を目指す様々な取り組みを精力的に展開しており、今回の評価結果等を今後の教育研究活動において活かし、教育界及び他の教員養成系大学を牽引する役割を果たしていくことが期待される。

以上